

## 委員会の動き

### 保健福祉(事務調査報告)

■調査第二号「高齢者の健康づくりと介護予防、認知症予防について」

保健福祉委員会は、富良野市民皆さんの「健康で安心して暮らせる富良野市」をめざし委員会活動を行ってきました。

今年の2月末富良野市の人口23,544人、65歳以上の高齢者数は6,714人、75歳以上の高齢者(後期高齢者)3,587人、高齢化率(総人口に対する65歳以上の高齢者の占める割合)28.52%で22%を超えると超高齢社会と言われ今後高齢化率増加が予想されます。

富良野市保健増進計画(第2次)では健康寿命の更なる延伸に向けて、健康度の高くなっていく高齢者については、就労や社会参加を促進する一方で、疾病等による虚弱化を予防又は先送りすることが重要な課題としています。

委員会では、高齢者の健康、健康の定義を皮切りに、健康づくりを中心に議論を重ねてい

す。

その背景には、介護が必要になった原因として、脳血管疾患・認知症・関節疾患・心臓病・糖尿病があげられます。

認知症の要因としては脳血管疾患が多く見られ、要介護要因として、高齢による衰弱・骨折・転倒をきっかけとした生活機能の低下が指摘されております。

また、高齢者は健康診断など日常的な健康管理のほかに、栄養改善、口腔機能の向上など介護が必要とならないよう運動機能向上や各種予防が必要であるなど、幅広い意見が出されたところです。

今後は、他市の先進事例調査し議論を深めたいことから継続調査をすることと致します。



認知症講演会

### 経済建設(事務調査報告)

■調査第二号「観光行政について」

本委員会は、担当部局に資料の提出と説明を求め、富良野市の観光行政について調査を進めてきております。

担当部局からは、①広域観光(富良野美瑛広域観光推進協議会)について、②富良野市の観光について、③富良野市と各団体との役割分担について、④平成26年度の主な取り組みについての説明を受け、本市の観光行政についての取り組みの現状と課題の把握を行ってきております。

本市では、平成19年に富良野市国際観光促進協議会において観光振興計画が策定され、現在は、後期5カ年計画に基づき、各種観光施策が実践されているところです。また、富良野沿線に美瑛町を含めた広域観光においては、平成29年度の観光庁による「ブランド観光圏」認定に向けた取り組みが展開されています。

これまでの委員会では、将来



へそ祭り

的な富良野市のまちづくりを考えていく上で、観光がまちづくりに果たす役割、市民がどのようにに観光と関わりを持つべきか、その目指すべき方向性を確認し、その中で行政の役割とは何かをテーマに議論を進めております。各委員からは、主に行政と観光協会の役割分担、観光分野における緊急雇用対策、観光と農業のつながり、地域観光振興計画の推進体制などについて意見が出されております。

これまでの施策の中で行政が取り組むべきものとそうでないものにも言及しながら、真に必要な施策とは何か、さらに深く議論の掘り下げが必要なことから継続調査を求めました。